

新型コロナウイルス関連 公開情報取りまとめ
～2020年4月5日(日) 17時現在～

在サンパウロ日本国総領事館

1 サンパウロ州

4月3日(金)～5日(日)発表

- 5日(日)16時現在、州内の感染者は4620人(2日(金)時点は3506人)、死者は275人(同201人)に達した。いずれも1週間前(3月29日(日))より180%増、318%増を記録。死者の内訳は男性が157人、女性が118人で、60歳以上が236人。感染が確認されたのは州内計99市、死者は計32市となり、サンパウロ市内がそれぞれ3612人、220人と多数を占める。ただ、死者はこれまでにアラサツバ、リベイロン・プレット、カンピーナス、サントス沿岸、プレジデンテ・プルデンテ、ソロカバの各地域でも確認されており、州内陸部や沿岸部にも感染拡大の影響が広がりつつある。
- 3日(金)、サンパウロ州政府は、韓国から130万個の検査キットを購入した旨発表。現在、輸送手段を検討中(4月15日(水)までにはサンパウロに到着予定)。
- 3日(金)、サンパウロ州政府は州立学校の生徒約350万人を対象に、オンライン授業を可能とするデジタル・プラットフォームを立ち上げたと発表。オンライン授業はライブで、テレビ(TVCulturaが協力)や携帯で視聴可能。6日(月)から放送開始。
- 3日(金)、サンパウロ市技術革新局のデジタル製造公共ラボ(FAB LAB LIVRE SP)は、3Dプリンター12機とレザーカッターを活用し、30～40日間で1千枚の顔面保護マスクを製造予定と発表。
- 3日(金)、サンパウロ州議会は新型コロナウイルス対策として3億2500万レアルの予算を承認したと発表。
- 4日(土)、サンパウロ州政府は6千万レアルをサンパウロ市へ供与すると発表。右供与は3月27日(金)に発表したもので、4日(土)付官報に掲載した。集中治療室用の病床設置や、新設のサンパウロ市立ブラジランジア病院や同パレリエイロス病院の必要経費などに充てられる予定。

2 マット・グロッソ州

4月2日(木)～5日(日)発表

- 5日(日)17時現在、州内の感染者は60人(3日(金)時点で44人)、うち州都クイアバ市が38人、ロンドノーポリス市が6人、ヴァルゼア・グランデ市が4人、タンガラー・デ・セラ市が4人など。死者については、3日(金)に初めて1人が確認された。亡くなったのはルカス・ド・リオ・ヴェルデ市の病院に入院していた54歳男性で、高血圧と糖尿病を患っていた。
- 2日(木)、州政府は同州の連邦大学や州立大学等と連携し、アルコールジェルの生産を強化すると発表。
- 3日(金)、州政府は新型コロナウイルス感染対策に関する公的支出を[公式サイト](#)に掲載。透明性の確保が目的。
- 3日(金)、クイアバ市は市内で行う通夜の時間を最大4時間に制限。新型コロナウイルス感染防止策の一環。

3 マット・グロッソ・ド・スル州

4月2日(木)～5日(日)発表

- 5日(日)10時現在、州内の感染者は65人(4日(土)時点は62人)で、うち州都カンポ・グランデ市が43人、ドウラードス市が6人、バタイポラン市が5人など。感染疑いは55人(同41人)で、うちカンポ・グランデ市が41人。入院している感染者としては16人。死者は1人。
- 2日(木)、州政府環境・経済開発・生産・家族農業局(Semagro)はマット・グロッソ・ド・スル連邦大学(UFMS)等と連携し、消毒用アルコールの生産を増強。医療現場でのアルコール不足を受けた対応。
- 3日(金)、州政府は伯外務省の推奨を受け、ボリビア在住ブラジル人の帰国オペレーションを開始へ。
- 2日(木)、マット・グロッソ・ド・スル州立大学(UEMS)やカンポ・グランデ市等は新型コロナウイルスの影響を受けている恵まれない人達を支援すべく、腐りにくい食品や衛生用品等を集めて寄付すると発表。
- 3日(金)、州立動植物衛生監視局(Lagro)は州外から入る物流車両の消毒を実施中と発表。(了)